



一村一志

「夢の芽生える文化」創造のプラットホーム
「八雲志人館」は、将来に向けて持続可能な地域を創出することをめざして活動します。

地球。水。生命

闇の中にぼっかりと浮かぶ青い球体——人工衛星から写された地球の姿です。青は水の色です。「水の惑星」と呼ばれる地球は、表面の約70%が水に覆われており、「水球」と呼びたいほどです。不思議なことに、地球上の生命体も例外なく70%前後が水で占められており、私たち人間の体も60～70%程度が水です。



母なる海

宇宙に、地球が姿を現すのは
今から約46億年前。それから6
億年後、原始の海の中で、地殻
から伝わる熱、潮の干満、雷の
放電エネルギーなどの作用によ
つて簡単な有機物が生成され、
次いで、糖類、アミノ酸といつ
た、より複雑な有機物となり、
原始細胞が生まれたとされています。

水から生まれた生物は、やが
て陸へと上がっていきます。そ
して、今から約200万年前
に、石器を使う人類が誕生する
のです。

水体

人体は水に満たされた60兆個
の細胞から成り立っています。
「水体」と呼んでもいいほどです。
人体の約60～70%を占める水の
うち4分の3が細胞内液で、残
り4分の1が血液、リンパ液な
ど細胞外液です。この両方を合
ると、日本人一人当たり、1日
水文化機関)によると、水の需
要量は2025年には2003
年約1・4倍になると予測さ
れています。

人が必要とする飲料水は、1
日2ℓとされています。飲料水
のほかに、私たちは炊事、洗
濯、風呂、掃除、水洗トイレな
どの営業用水、事業所用水、公園
等で用いる公共用水などを含め
ると、日本人一人当たり、1日

人類が利用できる 淡水は0・01%

体内の水分が5%不足すると
喉の乾きを感じ、10%不足
すると脱水症状が出て、20%が
なくなれば死に至ります。

体内の水分が5%不足すると
喉の乾きを感じ、10%不足
すると脱水症状が出て、20%が
なくなれば死に至ります。

日本は間接的に多量の水資源を
輸入しているともいえます。2
005年の統計によれば、日本
が間接的に輸入した水は約64
0億m³で、これは日本国内で使
用される生活用水、工業用水、
農業用水を合わせた年間総取水
量と同じになっています。

日本の食料自給率は39%で、
多くの食料を海外からの輸入に
頼っています。食べ物を作る時
にはその10倍の水が必要とされ
ます。食料以外にも、日本
は多量の水を消費して生産され
る工業製品を輸入しています。

日本は間接的に多量の水資源を
輸入しているともいえます。2
005年の統計によれば、日本
が間接的に輸入した水は約64
0億m³で、これは日本国内で使
用される生活用水、工業用水、
農業用水を合わせた年間総取水
量と同じになっています。

水の情報を世界 生かす

「20世紀は石油をめぐる戦争
だつた。だが21世紀は水をめぐ
る戦争の時代になるだろう」。

1995年、世界銀行の副総裁
だつたイスマイル・セラゲルデ
イン氏はこう指摘しました。地
球温暖化と世界各地で起きる異
常気象、発展途上国で進む急速
な農業化・工業化、これらによ
つて、深刻な水不足が起き、
人々は水を求めて争うようにな
る、予言しているのです。

現在、世界の総人口は70億人
を超えており、2050年には
90億人を超えると予測されて
います。人口の増加はすなわち
水の使用量の増加を意味しま
す。ユニセフ(国際連合教育科
学文化機関)によると、水の需

要量は2025年には2003
年約1・4倍になると予測さ
れています。

アフリカでは、2か国以上に渡
つて流れる国際河川をめぐる紛
争が絶えません。

国連の報告によれば、現在、世
界人口の5分の1、約13億人が
安全な水を確保できずに苦しん
でいます。

そうした地域では、国際基準
である「家庭から安全な水源ま
で1km以内、1日20ℓ以上の安
全な水」を確保できない状況に
あり、近場の不衛生な水を利用
したりために命を落とす幼い子
どもたちが毎年180万人もいる
のです。また、「2050年に
30億人が水不足に苦しむよう
になるだろう」との予測もあり
ます。

私の義父はかねがね、病で氣
が弱くなっていたとはいえ、
「我々戦争を行つたものは、畠
の上で死んではいけないんだ」と
苦しそうに言つていました。

インターネットの時代にな
り、また戦後七十年を経て、さ
まざまの国に秘匿されていた第
二次世界大戦がいかなるものだ
ったのか、広島・長崎に落とさ
れた二種類の核爆弾がいかに残
酷な民族せん滅作戦であつたの
か、いやおうなしにわかつてき
ました。

「私の八月十五日」に寄せて
戦争は未来をつぶす

日本では、水資源の有限性、
水の貴重さ、水資源開発の重要
性について国民の関心を高め、
理解を深めるため8月1日を
「水の日」と定めています。2
014年には「水循環基本法」
が成立。この「水の憲法」によ
り、水は「国民共有の貴重な財
産」と位置付けられ、子孫にす
ばらしい水環境を残すことがめ
ざされることになりました。

しかし、先に述べたように、
水問題は一国にとどまりませ
ず。反対する人数が圧倒的であ
れば戦争をやめさせることができ
ます。

国民の成長が今ほど待たれて
いるときはありません。

石井裕子
(島根県出雲市多伎町)

△後記
「ゆう科学通信」は皆様からの
ご意見、情報を基礎に発信してい
ます。ご投稿はメール、ファックスで
お願いいたします。